

2016,7,23~24 (一泊登山)

冠山～テント泊～金草岳

(23日) 冠山 (標高 1257m) は、2016年3月20日に、21世紀に残したい自然100選に選ばれ、福井県南部池田町と岐阜県揖斐川町の境にある山。能郷白山に連なる越美(えつみ)山地主脈の一峰。揖斐川及び九頭竜川支流の足羽川の源流となる山。冠山峠(1050m)から往復する。何度も挑戦するが、毎回素晴らしい自然・豊富な植生に感動。地形も岩場があり、高島市の山々とは違う雰囲気堪能した。特に眺望が素晴らしく、360度の山々の深さに感動。「福井の山は、深いね・・・」と談笑。下山後は、ハツ杉 千年の森キャンプ場へ。テントを張り、夕食。お風呂に入ることができ最高。夜空は、たくさんの星……。いつもより多く、近くに感じる。辺りは真っ暗。涼風が心地よく、冷たいくらい。「蚊がいないね。外灯に虫もいないね。いいね。すごく贅沢な気分ね。」など談笑。21:00就寝。(24日) 4:00起床。テントを片づけ、軽く朝食を済ませ、5:45出発。冠山峠から金草岳を目指す。金草岳は、福井県と岐阜県の県境に位置する山で、福井県側は、ブナ原生林が広がっていて檜俣(ならまた)自然環境保全地域として守られている。「福井県は、大昔から(継体天皇の時代より以前から)全国屈指のお米の生産高を誇る地域と聞いていたが、大昔から、きっと水源のブナ原生林を大切にされたのだろうね。」など会話も弾む。高低差はあまりないが、アップダウンしながら、白倉岳から金草岳に挑戦。2時間30分の歩行だったが、曇り空でも、少し厳しい山歩になった・・・。ガスがかかっていたため、山頂から、景色が見えなかったのが残念。帰りは来た道を帰る。2日間、キャンプならではの自然・歴史探訪を満喫した。自然に感謝。出会いに感謝。

◆ (23日) 冠山 (標高 1257m)



冠山峠 (1050m) 登山口



すばらしい眺望



山道も少し険しい・・・



冠山の雄姿



冠平にて



冠山を前に、昼食



冠山の山頂 (1257m)



綺麗な樹林を行く①



②



テントを張る



夕食・かわいいお客様も



オトギリソウ



ヒヨドリバナ



アクシバ



?



シモツケソウ



ホツツジ



ヤマブキシヨウマ

(メモ) 冠山峠:

林道冠山線の岐阜県と福井県の県境にある峠。登山口までの林道には山野草の花が沢山咲いていました。

◆ (24日) 金草岳 (1227m)



金草岳登山口



ブナ原生林



ヤマアジサイの群生地



布滝の頭へ



少し急な所もあり



桧尾峠 960m



白倉岳へ ①



金草岳山頂(1227m)



トリバニンジン



ハクウンボク



ホツツジ



アクシバ



シモツケソウ



オニユリ



カラマツソウ



コメツツジ



クモトリソウ